

漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和5年5月9日(火) NO.4

ホームページ <http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp

校長 橋本 恵美子

ウェルビーイングな未来のための取り組み ぱーと1

① 松阪市の研究指定「未来を切り拓く力」育成モデル校区事業を受けました。

いろいろな学習(社会や理科、生活科)をする中で、「なんだらう」「なぜだらう」と、疑問を持ったことを、調べ、考え、まとめ、発表する探究学習に取り組んでいきます。自分や友だちの考えをまとめ、発表の方法を考えることは、国語科で培った力を使います。つまり、探究学習は、元になる教科や国語科の発展的な学習です。

そして、子どもたち自身は、自分たちの疑問を解決する学習ですから今まで以上に意欲が出てきます。

昨年も、地域の農業に興味を持った3年生が、梨づくり

農家さんの阪井さんに、袋掛け作業を実際にさせていただきました。4年生は、漕代支援隊の活動や過去の伊勢湾台風について話を聞き、「自助、共助、公助」の学習をしました。今年度は、もっともっと地域に出かけ、地域のことを調べます。安全確保のため、保護者のみなさんや地域のみなさんに付き添いをお願いすることもあろうかと思えます。その日、その時、都合がつかましたらお願いします。まだまだ、子どもたちが何に疑問を持つのか、何に興味を持つのか、それぞれの学年で定まった課題は決まっていません。決まり次第、お知らせします。また、どのような活動をしたいのか、どのような学びになるのか、保護者のみなさんや地域の方々に説明をさせていただく機会を持ちたいとも考えています。

この事業のねらいは、

児童(生徒)が、中学校区の豊かな自然や歴史・文化、産業等の学びを介し、夢を育み未来を切り拓く力を養うこと、また、児童(生徒)の学びを学校・家庭・地域が一体となって支える体制づくりを構築することです。

② こいこいチャレンジデー (G05チャレンジデー)

G05チャレンジデーとは「本居宣長さんの教え」5つのチャレンジから1つ選び、1か月重点的に取り組んだチャレンジを振り返ったり、新たなチャレンジを始めたりする日のことです。

本校では5つのチャレンジの中の「生活習慣を確立する」(寝る時間・学習する時間・読書する時間)の中の、「読書」を重点的に取り組み、1か月ごとに自分を振り返り、次に活かしたいと考えます。また、名称も漕代にちなみ、「こいこいチャレンジデー」としました。

取り組み方は、週に2回の朝読の時間(8時20分~8時35分)を設定します。毎週月曜日と学年で設定した曜日です。自分の好きな本をじっくり読みます。毎月1回のこいこいチャレンジデーにふりかえりの時間を設定し、何冊読んだのか、何ページ読んだのかを記入したり、お気に入りの本のコメントを書いたりして、自分のチャレンジの記録をのこします。

チャレンジデーは、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、1月16日、2月20日、3月5日です。



【宣長さんの教えリーフレット】